

令和6年度片山中学校区 地域単元学習カリキュラムマップ

地域に貢献する児童生徒の育成 ～地域への愛情を育み、地域貢献への意欲をもたせる～

片山中学校区で育成をめざす資質・能力

知識・技能

思考力・判断力・表現力

主体性

		学年	総合的な学習の時間・生活科 地域学習単元(時数)〔時期〕	学習内容	他教科等との関連(単元・時期)
後期	↑ 貢献する 地域への愛情をもち、 個々のよさを 生かして地域に貢献する。	9	○地域貢献協働プロジェクト (8)〔6月～7月〕 ○ずっと安心して暮らせる故郷に (22)〔9月～11月〕 防災	・地域の施設などから中学生にしてほしいことを伺い、自分たちができることを考える。 ・施設の要望をもとに、グループに分かれ、自分たちで準備や練習を行う。 ・各施設を訪ね、自分たちが準備したことを、施設の方に披露する。 ・自分たちの住む地域で災害が起きたとき、自分たちができることは何か考え、行動し、地域へ貢献する。 ・自分たちが考えた提案を聞き手に分かりやすく伝える。 ・今後の地域とのかかわり方について考える。	社会 (公民的分野「地方自治と住民：私たちのまちづくり」 11月) 国語 (「標語を作り、防災への備えを呼びかけよう」 11月) 美術 (「防災ポスター」 夏休み課題) 道徳 (『稲むらの火』余話) C16 9月) (「塩むすび」 B6 11月) (「希望」 D19 3月) 家庭 (「家族・家庭の子どもの成長」 4月)
		8	○未来の仕事を考えよう (42)〔6月～10月〕 ○災害が起きたとき私たちが できること(23)〔11月～2月〕 防災	・身近な働く人へのインタビューを通して、仕事の楽しさ・しんどさ・やりがい等について理解し、将来職業に就く時にどんなことを重視するかについて話し合い、働く意義や目的について考える。 ・自分たちの住む地域で災害が起きたとき、自分たちができることは何か考え、行動する。 ・防災訓練で学んだことを整理し、今の自分たちがさらにどのような力を身に付けていかなければならないかを考える。 ・日本で発生した過去の大きな災害について調べ、これから発生するであろう災害への対応に何を活かせるかを考える。	社会 (地理的分野「九州地方：多様な環境問題と環境保全の取り組み」 11月) 国語 (「標語を作り、防災への備えを呼びかけよう」 11月) 家庭 (「災害、環境に配慮した調理」 11月) 技術 (「高校調べ」 3月) 道徳 (「体験ナースをとおして」 D19 10月) (「避難所にて」 A2 2月) 保健 (「傷害の防止」 12月)
中期	↑ つながる 地域の「人・もの・こと」とつながり、 地域について 調べたりまとめたりして、 地域について考える。	7	○安全な町づくりのために私たちが できること (40)〔8月～11月〕 防災	・消防署の方から、地域の中で土砂災害などの危険性や校区内の危険場所を学び、安全マップを作成する。 ・地域のフィールドワークを行い、地域の危険箇所を確認し、防災新聞を作成する。 ・校外学習で災害時を想定した食事づくりを体験する。 ・消防署の方の指導やフィールドワークなど学んだことをいかし、防災に対する意識を深める。 ・小学生とひまわりの苗植えを行う。 ・4年生と地域清掃のボランティアを行う。〔4・7交流〕 ・1年生に絵本の読み聞かせをする。〔1・7交流〕	社会 (地理的分野「自然災害と防災への取り組み」 3月) 国語 (「標語を作り、防災への備えを呼びかけよう」 11月) 理科 (「過去にあった地域の災害や災害に対する日頃の備えについて知る」 11月) 技術 (「職業調べ」 3月) 道徳 (「ゆうへー生きていてくれてありがとう」 D19 11月) 家庭 (「住まいの安全」 10月)
		6	○ふるさと荘山田を未来に残そう ～歴史マップ作りを通して～ (55)〔4月～1月〕 歴史	・呉の歴史について資料を集めたり、旧跡を見学したりする。 ・自分のテーマを見つけて、課題を追究し、町の歴史マップ等を作成し、報告会を行う。 ・荘山田と他地域の特徴の違いを見付ける。 ・保護者に歴史案内をする。 ・地域の方に感謝の会を開く。	国語 (「いざというときのために」 6月) (「発信しよう、私たちのSDGs」 11月) 算数 (「図形の拡大と縮小」 11月) (「およその形と大きさ」 1月) 社会 (「世界に歩み出した日本」 12月) (「長く続いた戦争と人々の暮らし」 1月) 道徳 (「新しい日本に」 C17 11月)
		5	○みんなで防いでクレ！荘山田防 災大作戦(30)〔9月～2月〕 防災	・地域の防災リーダーや西日本豪雨災害の体験者等から土砂災害の仕組みや非難等について学ぶ。 ・自分たちの住む地域で災害が起きやすい場所を調べる。 ・自分たちが地域にできることを考える。 ・防災マップや防災グッズを作る。 ・地域の方が使いやすくなるための工夫を考える。 ・発表会を開く。	国語 (「問題を解決するために話し合おう」 9月) 社会 (「わたしたちの生活と環境」 2月) 理科 (「流れる水のはたらき」 11月) 道徳 (「わたしのボランティア体験」 C14 2月) 保健 (「けがの防止」 10月)
前期	↑ かかわる 地域の「人・もの・こと」とかかわり、 地域を段階的に知り、 よさを課題を見付けける。	4	○安心してクレ！わたしたちが守 る荘山田(54)〔4月～12月〕 安全	・学校の危険箇所を調べる。 ・学校を安全な場所にするための取組を考え実行する。 ・自分たちの取組が学校の安全のために効果的だったのかという視点で振り返る。 ・家庭や警察の方から得たデータから校区の交通安全について課題を見出す。 ・フィールドワークを実施し、安全マップを作成する。 ・安全な町づくりのためにできることを考え、実現させる。	国語 (「話を聞いて質問しよう」 4月) (「和と洋新聞」を作ろう」 10月) (「調べたことをほこくしよう」 2月) 社会 (「自然災害からくらしを守る」 9月) 道徳 (「日ごろの気持ちをつたえよう」 B7 9月) (「わたしたちの宝『灰々峰』」 D19 10月) (「ふるさとを守った大イチョウ」 C16 11月) 学活 (「地域清掃」 12月)
		3	○荘山田のやさしさを知ってク レ！(30)〔4月～9月〕 福祉	・自治会長さんや保護司の方にインタビューを行ったり、ひまわり植栽活動の手伝いを通して、地域を明るくする活動の目的について調べる。 ・地域の人が協力しながら進めている地域活動のよさを見つけ、調べたことをお家の人や2年生さんに伝えるための発表会をする。 ・やさしい町づくりをするために自分ができることを考え、「ひまわり宣言」をつくる。	国語 (「メモをとりながら話を聞こう」 4月) 国語 (「案内の手紙を書こう」 9月) 算数 (「表とグラフ」 6月) 道徳 (「ごみステーション」 C13 7月) 社会 (「わたしのまち みんなのまち」 4月)
		2	○どきどきわくわく まちたんけ ん(10)〔6月〕 ○みんなで使うまちのしせつ (6)〔10月〕 ○つながる広がるわたしの生活 (18)〔11月〕 商店街	・自分たちで計画を立てて、まちたんけんに出かける。 ・地域のおきにいりの場所を見付け、伝え合う。 ・公共施設を利用し、公共施設や公共物の役割を調べる。 ・栄町商店街を見学し、インタビューをする。 ・調べたことをまとめる。 ・まちの商店街のすてきを伝え合う。 ・お店の人にのお礼の手紙を書く。	国語 (「はなしたい、ききたい、好きなこと」 4月) (「はたらく人に話を聞こう」 4月) (「ありがとう」をつたえよう」 11月) (「こんなことをしているよ」 6月) (「町で見つけたことを話そう」 11月) 道徳 (「ながいながい つうがくる」 C15 11月)
		1	○なつがやってきた(8)〔7月〕 ○たのしいあきいっぱい (11)〔11月〕 ○ふゆをたのしもう(3)〔1月〕 自然	・公園で遊んで、公園はいろいろな人が使う場所で、利用方法やきまりがあることに気付く。 ・身近な自然や身の回りにあるものを使って、おもちゃを工夫してつくり、遊び方を工夫したりする。 ・地域の人に昔から伝わる遊びを教わったり、一緒に遊んだりする。	国語 (「よろしくねたのしくかこう」 4月) (「こんなことしたよ」 6月) (「なにに見えるかな」 10月) (「おもい出しかこう」 11月) 算数 (「3つのかずのけいさん」 10月) 道徳 (「みつけてみよう」 C15 11月)

